

社会福祉法人日本国際社会事業団
2024年度第401回 理事会 議事録

1. 開催日時

2024年12月5日（木曜日） 18時30分から20時30分まで

2. 開催場所

社会福祉法人日本国際社会事業団の事務所およびオンラインでハイブリット開催

- ・ 東京都文京区湯島1-10-2 御茶ノ水K&Kビル3階
- ・ オンライン参加の場合はZoomを利用

3. 出席者

理事（総数6名 出席6名） 永坂哲、石川美絵子、長島弘征（オンライン）
畑山篤（オンライン）、小豆澤史絵（オンライン）
監事（総数2名 出席2名） 山本一雄（オンライン）、田多晋（オンライン）
事務局（1名） 櫻井環

4. 欠席者

無

5. 議長

理事長 永坂哲

6. 議事録作成者

櫻井環

7. 決議に特別の利害関係を有する理事

該当者なし

8. 議題

（1）報告事項

報告第1号：理事長および業務執行理事の職務執行状況の報告

（2）議題

- 第1号：常勤職員の契約更改について
- 第2号：人事制度概案の説明
- 第3号：次年度予算の構成と経営戦略について

9. 理事会の議事の経過の要領及びその結果

18時30分、理事総数6名のところ、6名の出席により理事会が成立していることを確認後、石川常務理事が開会を告げた。その後、出席理事の互選により議長の選出を行い、永坂理事長が議長に就任した。

また、石川常務理事から、理事会の招集通知において、決議事項に特別の利害関係を有する理事が存するかを確認した結果、本日の議案について該当する理事はいない旨が報告された。

(1) 報告第1号：理事長および業務執行理事の職務執行状況の報告
石川常務理事が、資料に基づき説明を行った。

(2) 第1号議案：常勤職員の契約更改について
石川常務理事が、第1号資料にもとづき説明を行った。

永坂議長	質問がある方はよろしくお願ひいたします。
石川理事	補足ですが、ISSJはこれまで就業規則はありましたが、人事制度として仕組みづくりをすることは新たな取り組みです。社会的にも賃上げの傾向があり、職員の離職防止のためにも制度の見直しは必要だと考えています。
小豆澤理事	今後の昇給などの計画はありますか。
石川理事	キャリアアップ助成金の関係により、その基準に伴い賃上げを続けていく予定です。一方で、それ以上の増加のためには事業収入を増やしていく必要があります。
小豆澤理事	助成金や補助金においても、自治体などによって給与の扱いはそれぞれ異なるので、確認が必要ですね。
畑山理事	この契約変更と昇給については、いつ従業員に反映されるものでしょうか。
石川理事	契約変更が今年の12月からのため、次の評価は来年度の7月実施と考えています。それをもとに昇給に反映させる予定です。
山本監事	正職員にする場合、無期雇用にして月給制にするという理解でいいでしょうか。
石川理事	はい、そうです。
小豆澤理事	20時間を超える残業については、上長に申請するのはいかがでしょうか。
石川理事	新しく人事労務のシステムを取り入れた後であれば、申請をシステム内で行えるようになりますので、その導入を進めようと思います。
永坂議長	他に質問がなければ、第1号議案についてご承認いただけるということでしょうか。
	(異議なしとの声あり)
永坂議長	第1号は原案のとおり議決されたものと認めます。

(3) 第2号議案：人事制度概要の説明
石川常務理事が、第2号資料に基づき説明を行った。

石川理事	従業員の年功序列にはせず、受け持っている業務量や責任によって等級に影響するように設計すること(役割制度)について、皆さんどう考えておられますか。
畑山理事	昇給については、人件費が年々増加していくものになるので、今後の予算についてもあわせて検討していく必要があると思います。
小豆澤理事	基本給や等級の変化より、その年の評価によって賞与で増減があるほうがいいのではないのでしょうか。
山本監事	基本給が評価によって減額する可能性がある場合、従業員のモチベーション低下に関わるのではないのでしょうか。
石川理事	賞与額の下限については、キャリアアップ助成金の基準に基づいて支給する予定です。評価のための等級テーブルについては、次回3月の理

事会で決定したいので、それまでにご意見などをいただければと思います。

永坂議長 他にご意見や質問がなければ、この議案については承認ということでよろしいでしょうか。

(異議なしとの声あり)

永坂議長 第2号は原案のとおり議決されたものと認めます。

(3) 第3号議案：次年度予算の構成と経営戦略について
石川常務理事が、第3号資料に基づき説明を行った。

永坂議長 皆さん何か質問はありますか。

永坂議長 団体の基盤を安定させていくために、寄付金による収入を増やす施策を考えていく必要があると思います。今年度新たに開始した奨学金事業については、日本社会において本当に困っている外国籍の子どもたちのことを発信するために、とても大切な事業になると思っています。

永坂議長 理事も積極的に広報を手伝うために、広報物を積極的に配布していく必要があります。

山本監事 奨学金については、ISSJが支援している人がどのような困りごとを抱えているか明確にイメージできるので、もっと発信していくとよいと思っています。

永坂議長 奨学金について、今年初めての試みでしたが、慎重にスタートを切ることができましたので、これからはこの事業とともに発信を強めていければと思います。

田多監事 プロボノ活動のニーズも考えるといいのではないのでしょうか。ISSJが過去に実施していた国際養子縁組について、古い記録が残っていたり等、他団体との違いとしてあげられると思います。

石川理事 ヨーロッパのISS支部では、国際的な子どもの移動において保護をするということを発信しているようです。個人だけでなく、団体へのアプローチについては、来年度はより積極的にしていく必要があると思います。

永坂議長 それでは、他に質問がなければ、第3号議案についてご承認いただけるということでよろしいでしょうか。

(異議なしとの声あり)

永坂議長 第3号は原案のとおり議決されたものと認めます。

その他にご意見、ご質問等はございませんか。

よろしいでしょうか。本日の議題は全て終了しました。これをもちまして、本日の理事会を閉会させていただきたいと存じます。本日はありがとうございました。

2024年12月5日

議事録署名人

理事長 永坂 哲



監 事 山 本 一 雄



監 事 田 多 晋

